

第2節 刑法犯少年

1 罪種別

【県警人身安全・少年課】

令和4年中の検挙・補導状況をみると、窃盗が37人(40.2%)と最も多く、次いで傷害が13人(14.1%)となっています。なお、刑法犯の検挙・補導人員の総数は、令和3年よりも5人(5.7%)増加しました。

第34表 福井県の罪種別刑法犯少年の検挙・補導状況

(単位：人)

年		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
凶悪犯	殺人					
	強盗	2				
	放火					
	強制性交等		1			1
	小計	2	1			1
粗暴犯	暴行	3	10	13	11	10
	傷害	9	8	7	5	13
	脅迫	1	4			2
	恐喝			1	3	
	小計	13	22	21	19	25
窃盗		54	41	65	46	37
知能犯	詐欺	2	1	6		3
	横領					
	その他					
	小計	2	1	6		3
風俗犯	賭博					
	強制わいせつ	2	7	4	3	1
	公然わいせつ	1		1		3
	小計	3	7	5	3	4
その他	占有離脱物横領	10	10	10	5	3
	その他	12	17	20	14	19
	小計	22	27	30	19	22
総数		96	99	127	87	92

注：本資料でいう刑法犯少年は、刑法犯の罪を犯した（交通関係業務上過失致死傷罪を除く。）犯罪少年及び触法少年をいう。

資料出所：県警人身安全・少年課

2 学職別

令和4年中の学職別構成をみると、高校生が33人(35.9%)と最も多く、有職少年が23人(25.0%)、小学生の16人(17.4%)の順となりました。

第35表 福井県の学職別刑法犯少年の検挙・補導状況

(単位：人)

年		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
学 生 ・ 生 徒	小学生	13	8	20	12	16
	構成比	13.5%	8.1%	15.7%	13.8%	17.4%
	中学生	12	19	27	15	12
	構成比	12.5%	19.2%	21.3%	17.2%	13.0%
	高校生	34	32	28	32	33
	構成比	35.4%	32.3%	22.0%	36.8%	35.9%
	他学生	8	7	8	4	5
	構成比	8.3%	7.1%	6.3%	4.6%	5.4%
有職少年	19	23	38	21	23	
構成比	19.8%	23.2%	29.9%	24.1%	25.0%	
無職少年	10	10	6	3	3	
構成比	10.4%	10.1%	4.7%	3.4%	3.3%	
総数		96	99	127	87	92

資料出所：県警人身安全・少年課